

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成23年6月23日(2011.6.23)

【公開番号】特開2010-61328(P2010-61328A)

【公開日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2010-011

【出願番号】特願2008-225446(P2008-225446)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月11日(2011.5.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

センサノードと、上記センサノードから送信されるデータを処理する管理サーバとからなる注目度測定可視化システムであって、

上記センサノードは、赤外線を用いて固有の識別子を発する赤外線発信部と、加速度データを取得する加速度センサと、評価対象に設けられた赤外線発信部の発するあるいは他のセンサノードの携帯者との対面による他のセンサノードに設けられた赤外線発信部の発する赤外線データを取得する赤外線センサと、上記加速度データ及び上記赤外線データを上記管理サーバに送信する情報送信部と、を有し、

上記管理サーバは、上記加速度データ及び上記赤外線データを受信する情報受信部と、上記加速度データ及び上記赤外線データに基づいて上記評価対象の注目度を算出する注目度算出部と、を有する注目度測定システム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の注目度測定システムにおいて、

上記管理サーバは、上記赤外線データから上記センサノードの携帯者が対面した評価対象を特定する評価対象特定部と、上記赤外線データから上記センサノードの携帯者その他のセンサノードの携帯者との対面情報を検出する対面者識別部と、上記加速度データから上記センサノードの携帯者の活発度を測定する動作識別部と、上記対面情報及び上記活発度に基づいて対面時の活発度を算出する活発度評価部と、をさらに有し、

上記注目度算出部は、上記対面時の活発度に基づいて上記特定された評価対象の注目度を算出する注目度測定システム。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の注目度測定システムにおいて、

上記センサノードは、音声データを取得する音声センサをさらに有し、

上記管理サーバは、上記音声データから上記センサノードの携帯者が発話したか否かを検出する発言識別部をさらに有し、

上記活発度評価部は、上記発言識別部の検出結果を用いて上記対面時の活発度を算出する注目度測定システム。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の注目度測定システムにおいて、

上記発言識別部は、上記音声データから上記センサノードの携帯者の発話内容を分析し、

上記活発度評価部は、上記発話内容の分析結果に基づいて上記対面時の活発度を算出する注目度測定システム。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の注目度測定システムにおいて、

上記評価対象は複数存在し、上記注目度算出部は複数の上記評価対象それぞれの注目度を算出し、

上記管理サーバは、注目度表示部をさらに有し、

上記注目度表示部は、上記複数の評価対象の注目度をその値の大小関係に基づいて表形式で表示する注目度測定システム。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の注目度測定システムにおいて、

上記センサノードは、時刻情報を保持しており、上記加速度データ及び赤外線データに時刻を付与し、

上記管理サーバは、注目度表示部をさらに有し、

上記注目度表示部は、上記付与された時刻を参照して、複数存在する上記評価対象ごとの注目度を所定の時間帯における所定の時間間隔の推移系列として求め、一つあるいは複数の評価対象の注目度を、上記推移系列を示す折れ線グラフあるいは棒グラフの形式で表示する注目度測定システム。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の注目度測定システムにおいて、

上記評価対象は、特定の領域内に固定された評価対象物であって、

上記評価対象物の一に対応して、上記評価対象物を映すカメラが設置されており、

上記注目度算出部により注目度が高いと判定された評価対象物を映すカメラの映像を優先して表示する表示部をさらに有する、注目度測定システム。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の注目度測定システムにおいて、

上記注目度測定システムは複数の携帯者によって装着される複数の上記センサノードを有し、

上記複数の携帯者の一は上記評価対象を説明する者であり、

上記複数の携帯者の別の一は上記評価対象の説明を受ける者である注目度測定システム

。

【請求項 9】

センサノードと接続して送信されるデータを処理して評価対象の注目度を測定する注目度測定サーバであって、

情報受信部と、注目度算出部とを有し、

上記情報受信部は、上記センサノードが他のセンサノードまたは上記評価対象と対面したことを示す対面情報と、上記センサノードに設けられた加速度センサによって計測される加速度情報を受信し、

上記注目度算出部は、上記対面情報及び上記加速度情報に基づいて上記評価対象の注目度を算出する注目度測定サーバ。